

Starter Pack DVDからのファームウェアアップデート手順

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

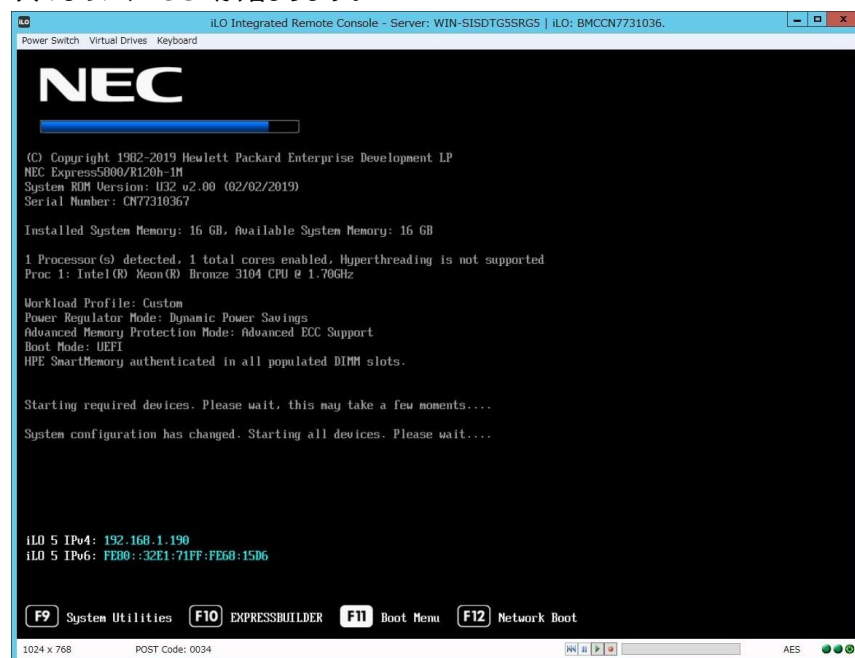
本書では、Starter Packからのファームウェアアップデートに関して補足いたします。本バージョンのStarter Packにおいて、OS上ではなく、Starter Pack DVDから直接ファームウェアをアップデートする場合、次の手順に従ってください。

- (1) 対象サーバーでセキュアブート設定が有効になっているときは、いったん無効にします。

システムユーティリティから、「System Configuration > BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Server Security」の「Secure Boot Settings」で設定してください。

- (2) 対象サーバーにStarter Pack DVDをセットし、電源をOFF、ONするか、または<Ctrl>+<Alt>+<Delete>キーで再起動します。

次のように、POSTが始まります。



次のように、Boot Menuが表示されます。

The screenshot displays the NEC One-Time Boot Menu. At the top, a status bar shows system information: "iLO Integrated Remote Console - Server: WIN-SISDTG5SRGS | iLO: BMCN7731036". Below this, the main title "NEC Boot Menu" is visible, along with navigation icons for power, drives, keyboard, and help. The left sidebar contains a home icon and the text "One-Time Boot Menu". The central area lists various boot options under the heading "One-Time Boot Menu":

- Embedded LOM 1 Port 1 : HPE Ethernet 1Gb 4-port 331i Adapter - NIC (iSCSI IPv4)
- Windows Boot Manager
- Embedded SATA Port 2 HDD : ST91000640NS
- Generic USB Boot
- Embedded LOM 1 Port 1 : HPE Ethernet 1Gb 4-port 331i Adapter - NIC (HTTP(S) IPv4)
- Embedded LOM 1 Port 1 : HPE Ethernet 1Gb 4-port 331i Adapter - NIC (PXE IPv4)
- Embedded LOM 1 Port 1 : HPE Ethernet 1Gb 4-port 331i Adapter - NIC (HTTP(S) IPv6)
- Embedded LOM 1 Port 1 : HPE Ethernet 1Gb 4-port 331i Adapter - NIC (PXE IPv6)
- Embedded UEFI Shell
- iLO Virtual USB 3 : iLO Virtual CD-ROM

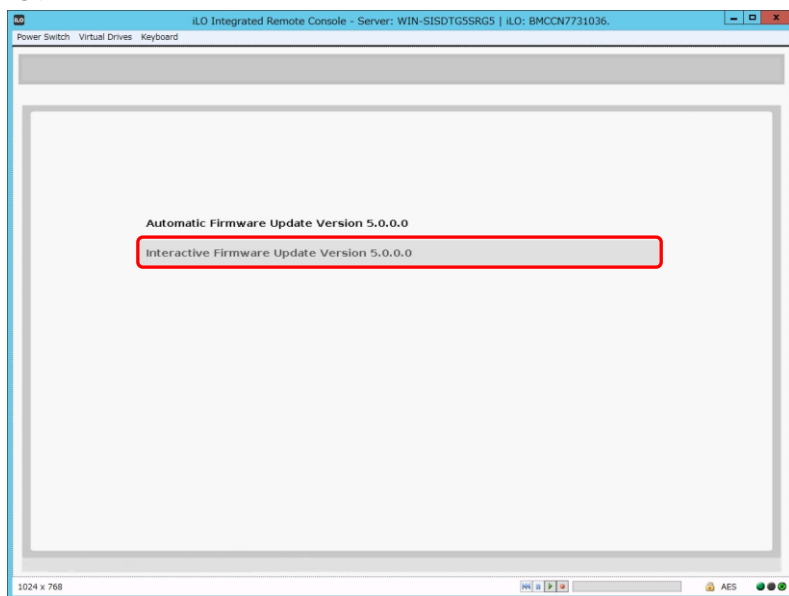
A section titled "Run a UEFI application from a file system" is also present.

At the bottom, there is a "Legacy BIOS One-Time Boot Menu" option. A footer bar includes a "Exit" button, status indicators for "Changes Pending" and "Reboot Required", and system details like "1024 x 768" resolution and "POST Code: 003B".

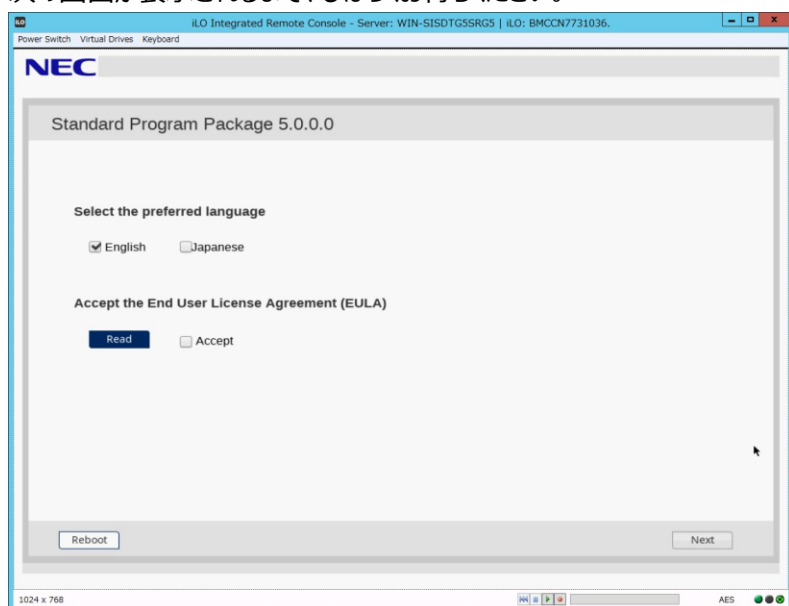
The screenshot displays the iLO Integrated Remote Console interface. At the top, the title bar reads "iLO Integrated Remote Console - Server: WIN-SISDTG5SRG5 | iLO: BMCN7731036". Below the title bar, there are three tabs: "Power Switch", "Virtual Drives", and "Keyboard". The main content area is a large white rectangle with a gray border. Inside this area, there is a gray rectangular box containing the text "Automatic Firmware Update Version 5.0.0.0". Below this box, the text "Interactive Firmware Update Version 5.0.0.0" is displayed. At the bottom of the main content area, there is a gray rectangular box containing the text "The highlighted entry will be executed automatically in 6s.". The bottom status bar shows "1024 x 768", "POST Code: 003E", a navigation bar with icons for "Home", "Back", "Forward", and "Refresh", and a status indicator "AES" with a green circle icon.

(5) メニューの「Interactive Firmware Update」をカーソルキーで選択してから<Enter>キーを押します。

- 10秒以内に選択操作をしない場合、一定時間経過後に「Automatic Firmware Update」が選択され、自動的にアップデートが実行されますので、ご注意ください。
- Express5800/R110j-1をご使用のお客様で、システムROMv2.00(05/15/2019)が適用されていた場合は、必ず「Interactive Firmware Update」を選択してください。

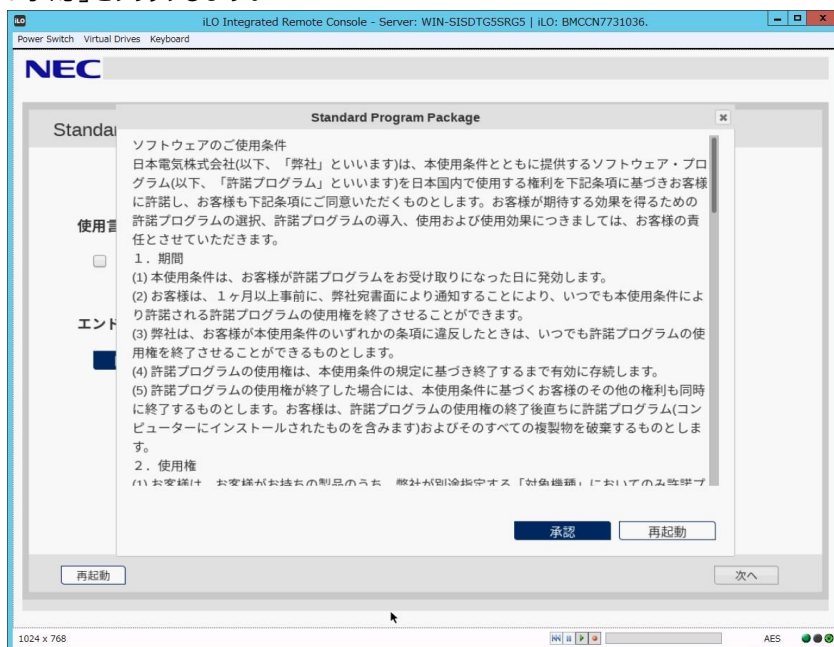


次の画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

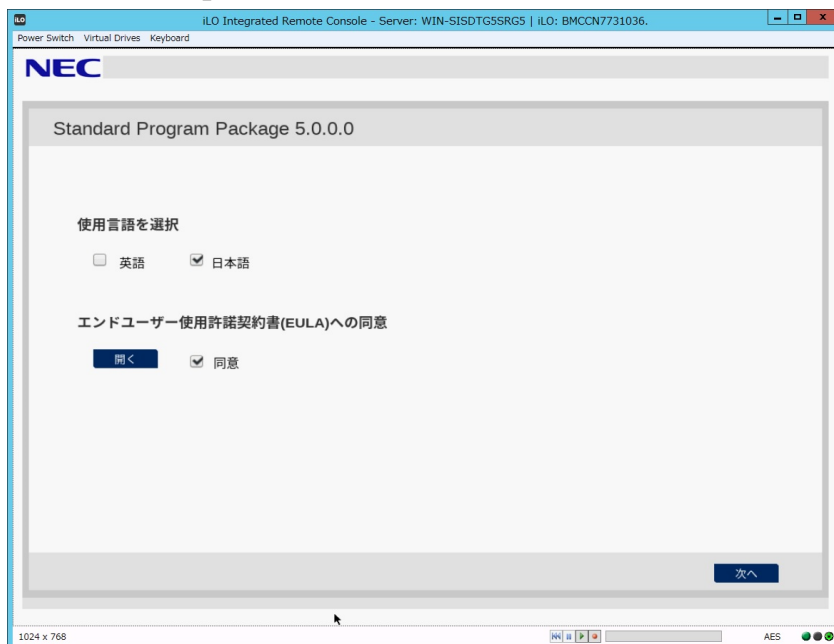


(6) 「Select the preferred language」で「Japanese」を選択します。

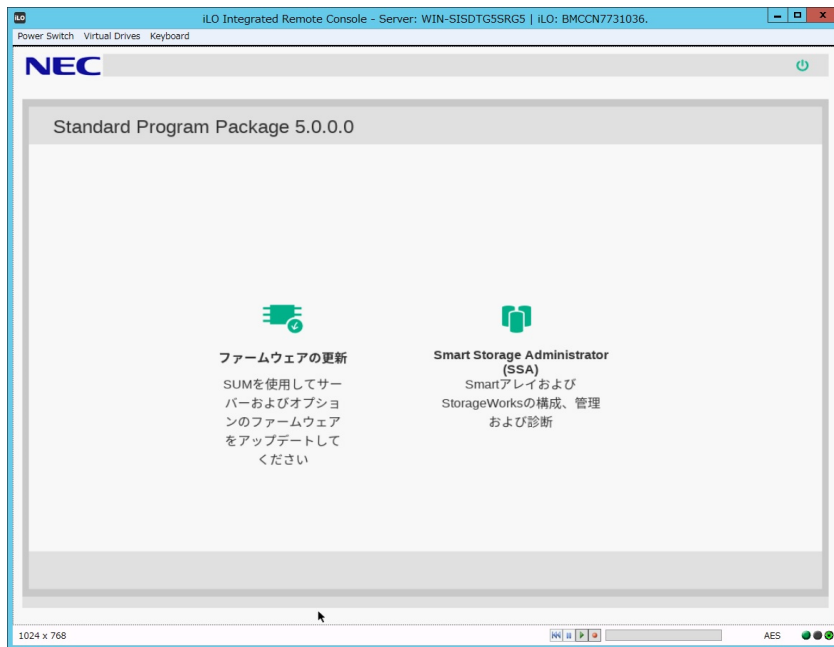
(7) 「エンドユーザー使用許諾契約書(EULA)への同意」で「開く」をクリックし、内容を確認して「承認」をクリックします。



(8) 画面右下の「次へ」をクリックします。



(9)「ファームウェアの更新」を選択します。



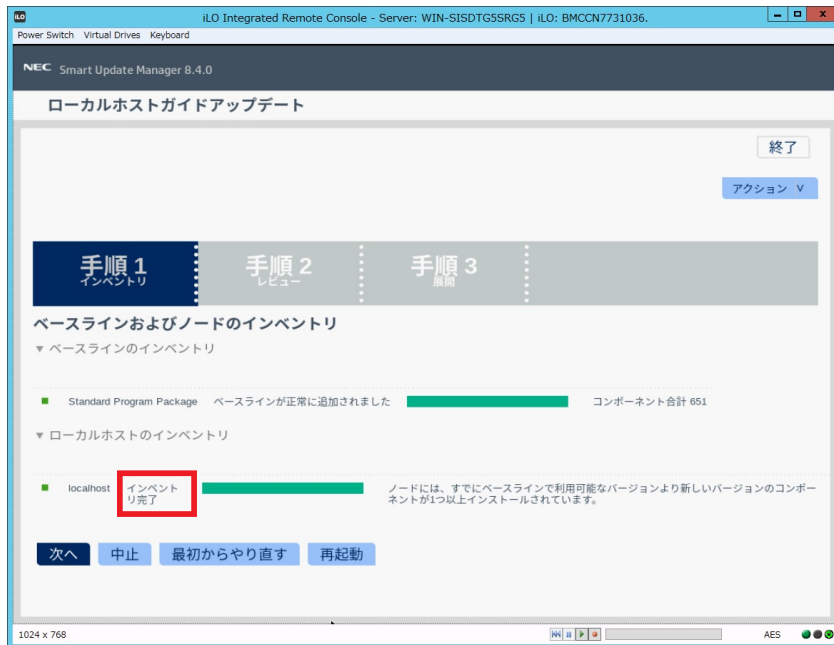
起動時にエラーが起きた場合、「トラブルシューティング」を参照して先に進めてください。

「ローカルホストガイドアップデート」の選択画面が表示された場合は、「ベースラインまたはインストールセット」が選択されていることを確認し、そのまま「OK」を選択します。（ここではiLOインストールキューを選択しないでください。）



「ローカルホストガイドアップデート」画面が表示され、「手順 1 インベントリ」が始まります。

以下の「インベントリ完了」が表示されるまで、しばらくお待ちください。



画面左下の「次へ」をクリックします。

(10)「手順2 レビュー」が表示されます。



次のように、ファームウェアの一覧が表示されます。

(環境によって表示されるファームウェアが異なります)



左のバーが青いファームウェアは、手順(12)でインストールを試みます。

- (11) ファームウェア一覧から「Online ROM Flash Component for Linux - iLO5」を探し、左側に「選択済み」と表示されていることを確認します。

選択済み

「選択済み」でない場合は、左側の「選択」または「強制（灰色）」をクリックし、「選択済み」または「強制（青色）」に変更してください。



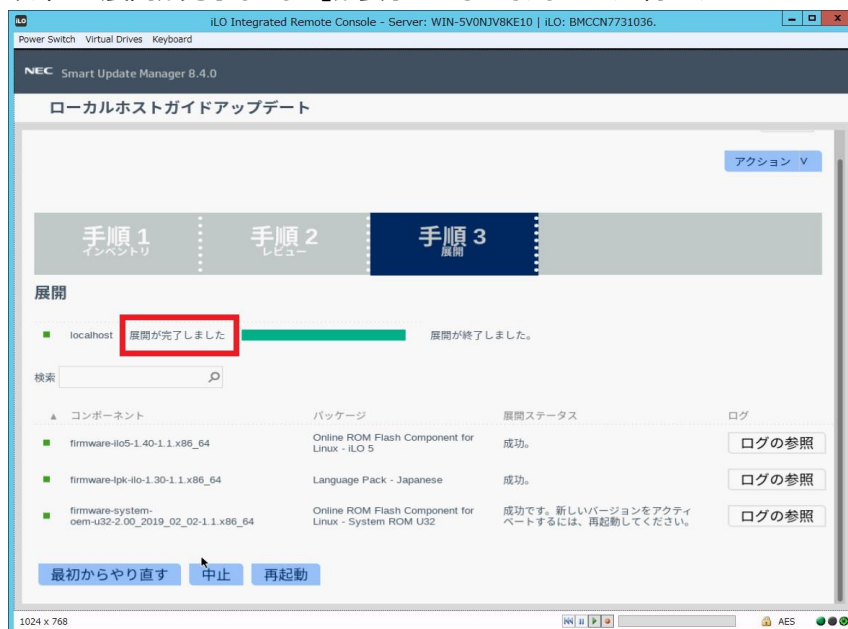
この手順において、「Online ROM Flash Component for Linux - iLO5」以外のファームウェアの選択状態は変更しないようにしてください。

※N8103-189/190/191/192/193/194/195/196/197/201 RAID/SASコントローラにおいては「利用可能なバージョン」が「3.53」と表示されますがインストールされるバージョンは「3.00」です。

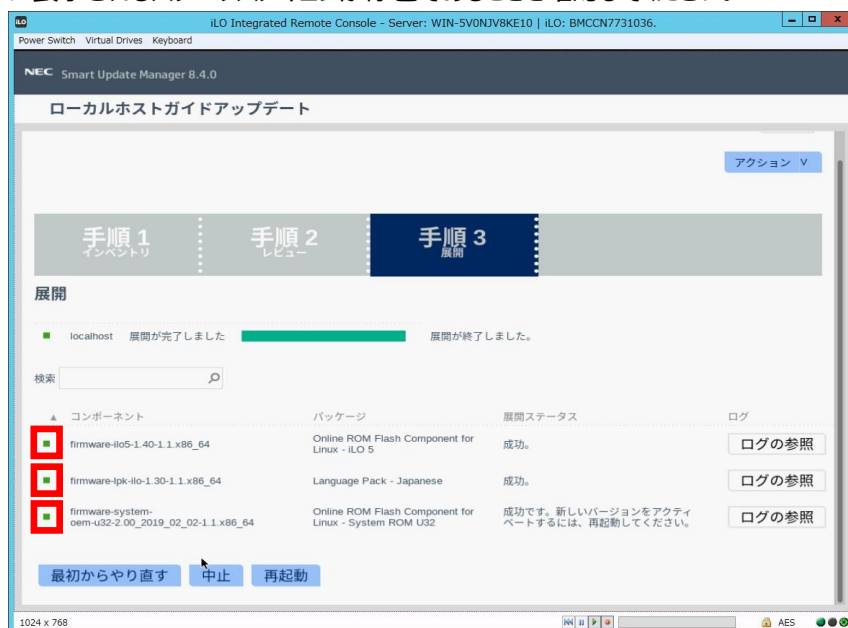
※ファームウェアをダウングレードする場合には、手動で「選択済み」または「強制」に設定してください。

(12) ウィンドウ下部の「展開」をクリックすると「手順3 展開」が始まります。

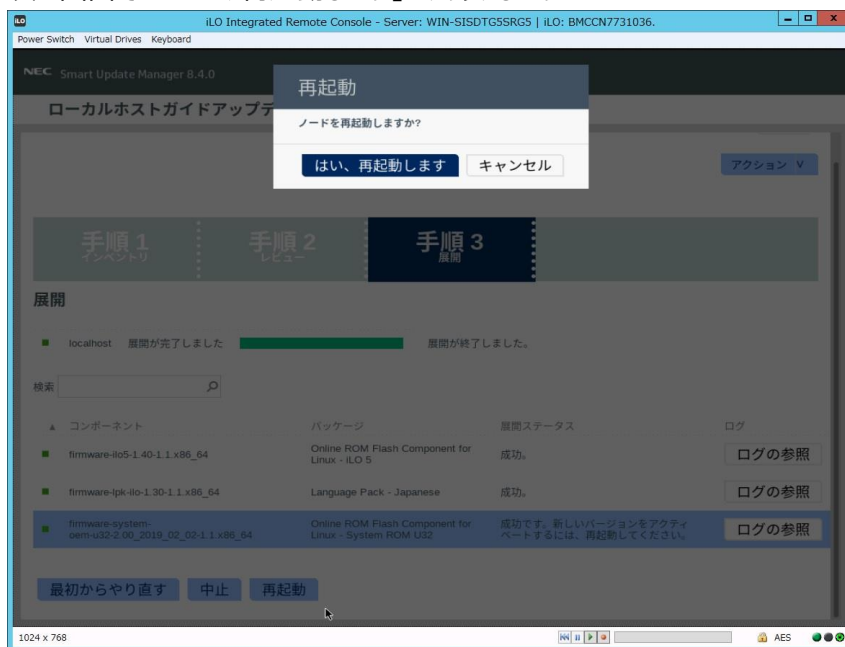
以下の「展開が完了しました」が表示されるまで、しばらくお待ちください。



(13) ファームウェアのアップデートに成功したことを確認します。次のように、コンポーネント名の左側に表示されるステータスアイコンが緑色であることを確認してください。



- (14) Starter Pack DVDをDVDドライブから取り出し、画面左下の「再起動」をクリックします。
次の画面では「はい、再起動します」をクリックします。



- (15) 手順(1)でセキュアブート設定を無効にした場合、同様の手順で有効へ戻します。

以上で、ファームウェアアップデートは完了です。

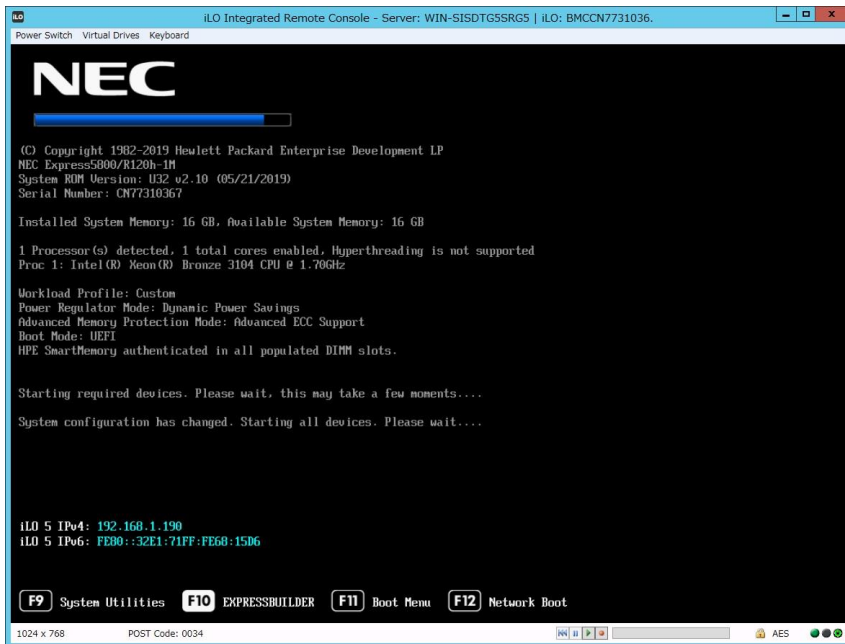
内蔵DVD-ROM ドライブ[N8151-137], 内蔵DVD-Super MULTIドライブ[N8151-138]を使用時、アップデート後、Starter Pack DVDがDVDドライブから取り出せない場合があります。このとき、トラブルシューティングの「1. Starter Pack DVDがDVDドライブから取り出せなくなった場合」を参照してDVDを取り出してください。

トラブルシューティング

1. Starter Pack DVDがDVDドライブから取り出せなくなった場合

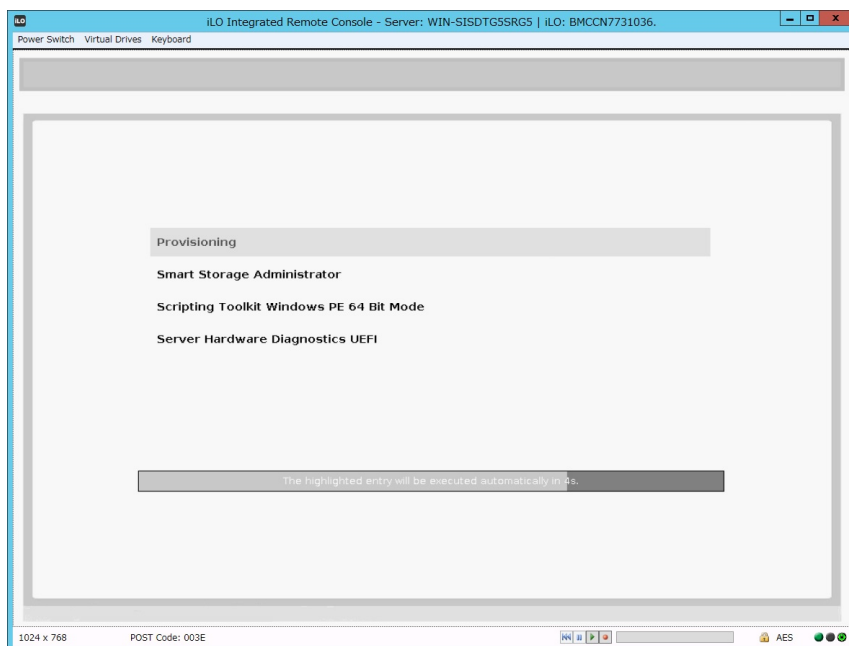
アップデート後にサーバーを再起動して、Starter Pack DVDがDVDドライブから取り出せなくなった場合、以下の手順に従って取り出してください。

- (1) 電源をOFF、ONするか、または<Ctrl>+<Alt>+<Delete>キーで再起動します。
次のように、POSTが始まります。



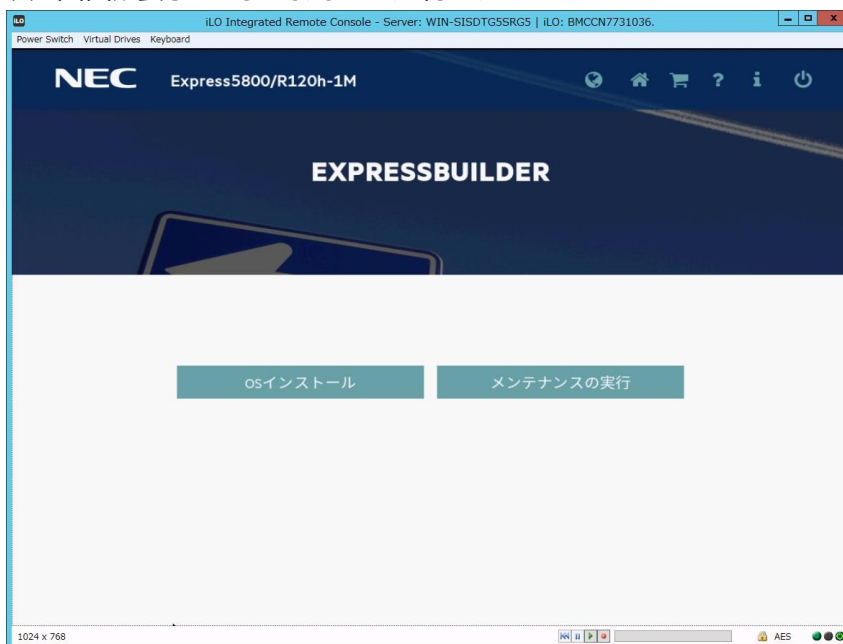
(2) POST画面で<F10>キーを押します。

次の画面が表示されます。

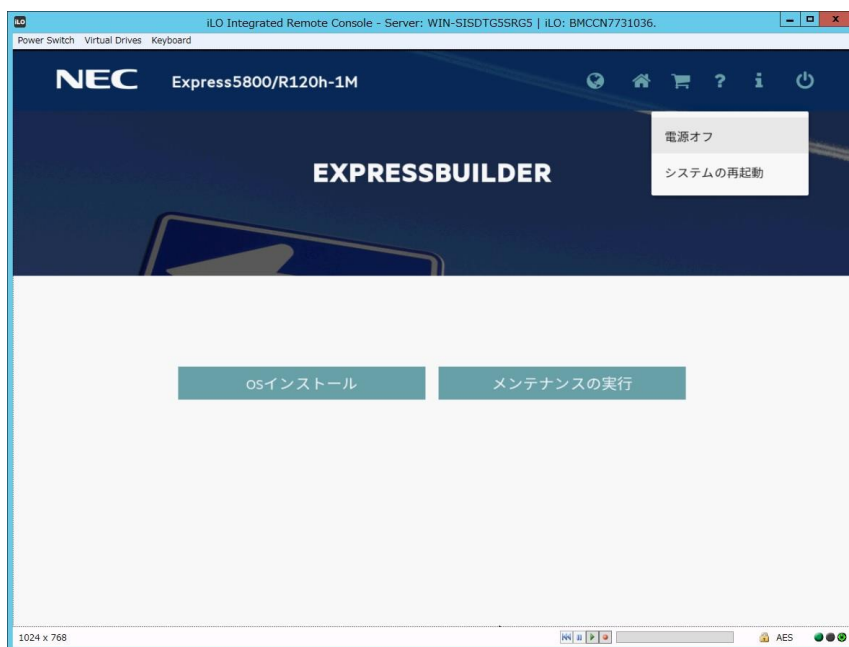


(3) メニューの「Provisioning」を選択します。何もキーを押さない場合、自動的に「Provisioning」が選択されます。

次の画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。



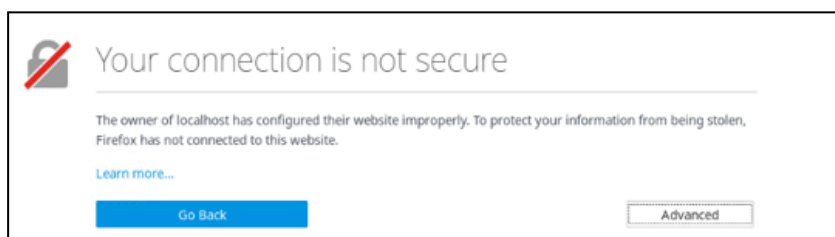
- (4) EXPRESSBUILDER起動後、DVDドライブのイジェクトボタンを押して、Starter Pack DVDを取り出します。
- (5) 右上の電源アイコンをクリックして「電源オフ」、または「システムの再起動」を選択します。



以上で作業は終了です。

2. 「Your connection is not secure」エラーが出てストップした場合

以下のエラーが起きて先に進めなくなった場合、以下の手順に従って進めてください。



- (1) 画面上の「Advanced」をクリックします。
- (2) 画面上の「Add Exception...」をクリックします。
- (3) ポップアップした「Add Security Exception」画面で、「Confirm Security Exception」をクリックします。

以上で作業は終了です。